



Montreuxが長きにわたる経験と実績で プロデュースするオリジナルパーツ

Montreuxが20余年に渡って関わってきたギタープロダクツの経験から生まれた、アイデア溢れるオリジナルパーツが、Montreux Selected Parts。これまでありそうでなかったものやコンポーネントとしては売られていても単品では手に入りにくかったもの、豊富な知識の蓄積を反映した画期的なパーツなど、誰もが待ち望んでいた商品の数々が、今ようやくギターユーザーの手に。



FEB
VOL.142
2015

Nickel



Montreux custom wrap around bridge Nickel

[商品番号：9126]

¥12,000+消費税

Chrome

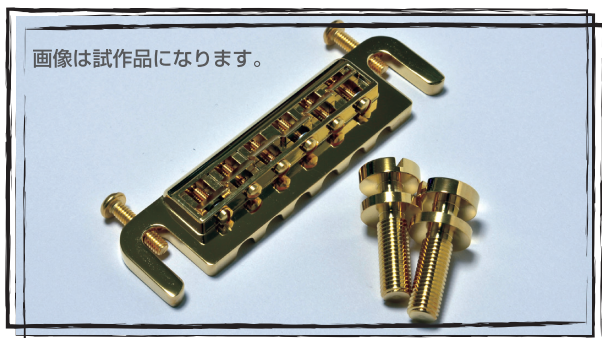


Montreux custom wrap around bridge Chrome

[商品番号：9127]

¥12,000+消費税

Gold



Montreux custom wrap around bridge Gold

[商品番号：9128]

¥15,000+消費税

BADASS社のギター用ブリッジが店頭から消えてすいぶん経ちます。メーカーの金型が壊れたことが原因だと言われています。

しかしBADASS社のギター用ブリッジの人気は高く、たまにオークションなどにあればあっという間に落札されますし、いくつかのメーカーからレプリカモデルも発売されました。ただ、形状や品質が粗悪なものもあり、決定打と言えるものはありませんでした。

そして満を持して弊社から発売されたのがこれです！形状やメッキにこだわって、オリジナルの雰囲気をも十分に再現しています。そして一番のキモは、オリジナルよりも高さを抑えてあること。

今回のプロダクションにあたり、(株)ラムトリック・カンパニーの代表、竹田氏との共同開発という形で、高さ方向の寸法を全面的に見直し、総厚はオリジナルよりも1mm低くなっています。

たった1mmですが、これが重要なのです。

日本のギタリストの間で人気の高いLes Paul Special (Single Cutaway)ですが、このギターは製造時期や個体差によって、ネックの仕込み角度が浅いものがあり、オリジナルのバブリッジをBADASS製に交換すると、スタッドを目一杯下げても弦高がまだ高いということがよく起きます。

この場面での1mmの違いというのは大きいのです。Les Paul SpecialにBADASS製を付けて弦高が高くてお悩みの方、ぜひこのブリッジへの交換をお薦め致します。

Badassとは？

エレクトリックギター&ベース用リプレイスメント・パーツの新時代を拓いたBadass(バダス)“バダス・ブリッジ”は、故Leo Quan (レオ・クワン)“Badass (凄腕、恐れ知らず)”によって誕生しました。

レスポールJr.などに標準装備されたいわゆるバブリッジはシンプルな反面、サドルが固定式でオクターブチューニングが甘いというデメリットを抱えていました。それに不満を抱いていたLeoは、可動式のサドルを持つ、バブリッジのリプレイスメント・ブリッジの製作を自ら始めたのです。そして1972年、最初のBadassブリッジが世に送り出されました。

バブリッジのギターに無改造で装着でき、しかも各弦ごとにオクターブ調整が可能なそのブリッジは同じ様な不満を持っていた他のミュージシャン達にも好評で、瞬間に有名になりました。

Keith Richard (The Rolling Stones)、Pat Travers、Malcolm Young (AC/DC)、Jimmy Page (Led Zeppelin)ら、Badassを愛用するビッグネームは枚挙に暇がありません。さらにB.C.Richなど、様々なギターブランドの製品にも標準装備され、高い評価を受けています。また、Bass IIはベース用リプレイスメント・ブリッジとして1980年代以降のスタンダードと呼べる存在となり、Badassの名声を高めています。



株式会社 モントルー

〒187-0032 東京都小平市小川町2-1295-20
ガーデンヒルズ B-102 TEL: 042(202)0479

www.montreuxguitars.com